



安全にも心を込めて プリンセス・クルーズ 安全対策3原則

初回運航再開時には旅客数を定員の約半数に制限した上で、ソーシャルディスタンスの確保や3密回避などの対応はもちろん「残さない」「持ち込まない」「拡げない」を徹底した取り組みを行います。

【残さない】ダイヤモンド・プリンセスの大規模消毒、備品の新品交換



- 2020年3月、WHOやCDC、国立感染症研究所の指示のもとで策定され、厚生労働省が確認した大規模消毒作業を約150名の専門家とともに実施しました。
 - 船内の備品(マットレスを含む寝具、タオル、カーテン、本、おもちゃなど)も、すべて新品に交換しました。
- 本船消毒作業完了および検査解除の証明として、横浜検疫所より検査済証の交付を受けました。

【持ち込まない】COVID-19の乗船前検査の徹底、乗務員の健康管理



- すべてのお客様のCOVID-19乗船前検査、非接触の体温測定、健康質問票の入力を徹底。症状がある方には、乗船を許可する前に、追加の医療スクリーニングと検査を実施。
- 乗務員も全員、COVID-19の乗船前検査および毎日の健康チェックを徹底して実施。

【拡げない】換気システムの強化、COVID-19対応の医療班が常駐



- 客船の換気フィルターをMERV-13レベルにアップグレードして換気システムを強化。空気中の粒子の大部分を除去することにより、新鮮な空気を最大限に活用し、空気のろ過を強化。
- 空気は、5～6分ごとにパブリックスペースと客室全体で交換。
- 空気が循環されるエリアでは、紫外線(UVC/UVGI)を照射することで空気中のウイルス等の物質を殺菌する次世代衛生システムを新規に採用。
- 医務室は、陰圧管理され、HEPAフィルター(高性能エアフィルター)を導入。また、隔離室も同じく陰圧管理の上、MERV-13フィルターを採用し、さらにUVC紫外線照射して空気を殺菌。
- 船内にはCOVID-19の対応に関する特別研修を受けた医療班が常駐。
- COVID-19の症状の緩和に効果の見込まれる薬を船内に常備。
- 船内においてCOVID-19の検査を受けることが可能。
- 寄港地観光ツアーについては、COVID-19をはじめとした状況に応じて各地の保健当局や政府関係者と連携し、訪問するすべての寄港地の健康規定に従い実施。

ダイワグループのダイヤモンド・プリンセスのサイトに戻る >>

(株)ダイワグループ
クルーズ旅行センター(法人営業部)
☎ 03-5377-1381